

1 単元の構想

(1) 身に付けさせたい資質・能力および 児童の実態

	身に付けさせたい資質・能力	児童の実態		
		4年A	5年B	5年C
心理的な安定	自分の気持ちや情緒をコントロールして、変化する状況に適切に対応しようとする力	<ul style="list-style-type: none"> ・友達からの注意の言葉などに敏感に反応し、泣いたり怒ったりすることがある。 ・ゲームやクイズなど楽しい活動では、テンションが高くなり、コントロールが難しくなることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗にこだわりがちで、勝ってうれしいときと負けて悔しいときの感情の振れ幅が大きい。 ・興味のある楽しい活動には、積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてのことや難しそうだと感じたことには、緊張したり硬い表情になったりする。 ・穏やかに友達と関わっているが、Aに対しては、時々厳しいことを言っていることがある。
人間関係の形成	自他の理解を深め、他者と適切に関わろうとする力	相手の感情や意図を察してやり取りすることがやや苦手で、友達とトラブルを起こすことがあるが、素直に非を認め、あやまることができる。	自分中心にルールを変えたり、ゲームを進めたりしがちであるが、教師の助言を素直に聞き入れ、友達のことを考えて関わろうとすることもできる。	相手の感情を察して、自分の言動を調整することがやや苦手であるが、AやBのことを受け入れて関わろうとしている。
コミュニケーション	場や相手に応じて円滑にコミュニケーションをとる力	相手の話しかけに応じて適切に受け答えすることはできるが、一方的に話すことも多い。	自分の感情が抑えられないときは、すねて、友達とのやり取りを拒否してしまうことがある。	相手の様子を見て適切にやりとりをすることがやや苦手で、伝えたいことを一方的に話すことがある。

(2) 目標

約束を守り、落ち着いた態度で、最後まで活動に参加することができる。

(3) 評価規準

	4年A	5年B	5年C
心理的な安定	落ち着いて、真面目に考えながら、クイズに参加している。	わからなかったり、間違えたりしても、気持ちを切り替えながら、クイズに参加している。	Aに対して否定的な言葉を使わず、落ち着いた態度でクイズに参加している。
人間関係の形成	友達が知っているものかどうかを考えて問題を作り、友達の感情や意図を察して、肯定的な態度で接している。	友達が知っているものかどうかを考えて問題を作り、約束を守って参加している。	友達が知っているものかどうかを考えて問題を作り、肯定的な態度で接している。
コミュニケーション	相手の言動を受けて適切にやりとりをしている。	友達の気持ちや感情を配慮しながら、やりとりをしている。	友達の意図や感情を気かけながら、やりとりをしている。

(4) 単元計画および指導方針

時間	ねらい	評価項目（評価内容及び評価方法）	【学びの必要性】なぜこのことを学ぶのか？	「生活上の困難」解決のために
1	わからなかったり間違えたりしても、気持ちを切り替えながら活動しようとする態度を育てる。	・わからなかったり間違えたりしても、気持ちを切り替えながら最後までクイズに参加している。（観察）	クイズの問題を作り、やりとりすることで、自分とは違う見方・考え方に触れ、多様な価値観に気づけるようにするとともに、楽しく活動する経験を積むことで、円滑な人間関係を築けるようにする。	自分のとるべき態度や生活上の約束が明確にした上で、楽しく活動できれば、人と適切に関わることができると思う。